



就農支援の要点を紹介した 「新規就農指導支援ガイドブック」

農研機構の「新規就農指導支援ガイドブック」は、独立就農、法人経由型就農、第三者継承といった就農方式ごとの特徴と就農支援の要点について、指導機関や研修受け入れ農家など就農支援者向けに解説した手引きです。就農相談や研修時、就農後のフォローアップに使える支援ツール、就農支援の実践事例も紹介しており、受け入れ地域での就農支援に活用できます。

☆技術の概要

1. 手引き編とツール・事例編の2分冊構成となっています（図）。
2. 農業経営者として独立する新規就農（新規参入）を、①農地、機械・施設、技術、販路などを独自に確保し、新たに経営を創設して農業を始める独立就農、②農業法人で研修、就業した後、法人から支援を受けて独立し、経営開始後も法人と関係を保つ法人経由型就農、③後継者のいない農業経営の事業を新規就農者が一体的に引き継ぐ第三者継承という三つの就農方式に大別しています。
3. 手引き編では、就農方式別に必要な支援の内容を整理しています。受け入れ準備段階、選考段階、研修・就農準備段階、就農段階といった就農支援のステップごとに、就農者が地域に定着するまでの一貫した就農支援の要点が確認できます。
4. ツール編では、就農相談や研修、就農後のフォローアップに使える支援ツールを紹介しています。たとえば、就農方式の適性判断ツールは就農者の性格に適した就農方式の提案に、また、計画作成・診断ツールは就農者の就農・経営計画作りの支援に利用できます。さらに、就農者向けの経営管理チェックシートを使えば、就農者の経営管理の弱点を把握できます。
5. 事例編では、先進地域での就農支援の取り組みをまとめています。関係機関や農業者が連携しているケースをはじめ8事例を掲載しており、受け入れ地域の実情に応じた就農支援を考える際の検討材料として役立ちます。

 <p>新規就農指導支援 ガイドブック -新規参入者の円滑な経営確立をめざして-</p> <p>手引き編</p>	 <p>新規就農指導支援 ガイドブック -新規参入者の円滑な経営確立をめざして-</p> <p>ツール・事例編</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 ガイドの目的 2 新規就農者の動向が知りたい 3 新規就農方式の違いや利点が知りたい～各方式の特徴とポイント～ 4 就農方式別の支援体制や支援方策が知りたい 5 新規就農に関する資料、問い合わせ先
		<ol style="list-style-type: none"> 1 新規就農支援で使える「道具」はないか～就農・定着への支援ツール～ 2 参考になる事例が知りたい 3 新規就農に関する資料、問い合わせ先

☆活用面での留意点

本ガイドブックやガイドブックで紹介した支援ルーツは、農研機構中央農業総合研究センターの「農研機構 | 経営管理システム」のウェブページ (<http://fmrp.dc.affrc.go.jp/>) からダウンロードできるよう準備を進めています。（農研機構北海道農業研究センター 主任研究員 島 義史）